

Mizuho Daily Market Report

2024/4/12

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	153.14	153.27	+0.11	+1.93
EUR	1.0743	1.0726	▲0.0017	▲0.0111
AUD	0.6526	0.6538	+0.0026	▲0.0050
SGD	1.3532	1.3531	▲0.0007	+0.0046
CNY	7.2368	7.2370	+0.0027	+0.0038
MYR	4.7502	4.7478	+0.0000	+0.0076
THB	36.60	36.61	+0.24	▲0.11
IDR	15869	15845	+0	▲48
PHP	56.50	56.51	+0.01	+0.14
INR	83.19	83.19	+0.00	▲0.25
VND	24994	24990	+44	+44

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.587%	+4.3 bp	+27.7 bp
日本(10年)	0.871%	+6.5 bp	+8.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.463%	+2.8 bp	+10.2 bp
オーストラリア(5年)	3.899%	+13.6 bp	+8.8 bp
シンガポール(5年)	3.325%	+14.1 bp	+17.7 bp
中国(5年)	2.131%	▲1.8 bp	▲4.6 bp
マレーシア(5年)	3.699%	+0.0 bp	+2.4 bp
タイ(5年)	2.370%	+4.7 bp	+10.6 bp
インドネシア(5年)	6.579%	+0.0 bp	▲1.1 bp
フィリピン(5年)	6.570%	+24.5 bp	+36.6 bp
インド(5年)	7.083%	+0.0 bp	+1.9 bp
ベトナム(5年)	2.090%	▲5.0 bp	▲17.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,459.08	▲0.0%	▲0.4%
N225(日本)	39,442.63	▲0.4%	▲0.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,966.68	▲0.7%	▲2.1%
ASX(オーストラリア)	4,322.37	▲0.4%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,227.61	▲0.3%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,034.25	+0.2%	▲1.1%
SENSEX(インド)	75,038.15	+0.0%	+1.1%
JKSE(インドネシア)	7,286.88	+0.0%	+0.4%
KLSE(マレーシア)	1,553.51	+0.0%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,677.65	▲0.9%	▲2.2%
SETI(タイ)	1,396.38	▲0.8%	+1.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,258.20	▲0.0%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	295.55	▲0.8%	▲0.3%
金	2,372.52	+1.6%	+3.6%
原油(WTI)	85.02	▲1.4%	▲1.8%
銅	9,209.90	▲0.3%	▲0.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	151.60	—	153.40
EUR/USD	1.0640	—	1.0950
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3400	—	1.3580
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/MYR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	36.98
USD/IDR	15580	—	15950
USD/PHP	55.00	—	56.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	24,600	—	25,100

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は152円台後半でオープン。前日の米CPI発表後のドル高の流れを受け、朝方から神田財務官、鈴木財務相ともにあらゆる手段を排除せず適切に対応するとの牽制発言が聞かれたが、市場の反応は薄く、底堅く推移。アジア時間午後に入り米金利の上昇に伴いドルが再度強含む動きとなると153円台を付け海外時間へ。
アジア通貨は総じて下落。米CPIの結果を受けたドル買いの流れが継続する中、アジア通貨は対ドルで軟調に推移した。

海外市場のドル円は、欧州時間153円付近で小動きとなり米州時間へ。米州時間朝方に発表された米3月PPIが予想を下回った事や、米失業保険継続受給者数の結果が予想より悪化した事が嫌気され、市場はドル売りで反応し、152円台後半まで値を下げる。しかし、その後は低下していた米金利が再度上昇する展開に買い戻しが入り、153円台前半まで反発し連日の年初来高値を更新。米州時間午後は買い一巡となり、153円台前半での動きとなりクローズした。
また、ECB4月理事会の結果が発表され、5会合連続で主要政策金利を4.50%で据え置いた。声明文では、ハト派寄りのコメントが多く見られた。

【金利】

米金利市場は、長期で特に上昇し、イールドカーブはスティープ化した。米州時間朝方には3月PPI（生産者物価指数）が発表され、その結果はほぼ予想通りではあったものの、項目のなかには前回から低下した数字も見られ、昨日のCPIと違い全体的に弱めの印象となった。金利は発表後いったん急低下したがその後は堅調に推移する株を眺めながら、売り優勢へと反転する場面も見られた。

【予想】

本日のドル円相場は引き続き為替介入に関する政府・日銀の動向に注目が集まる。連日、ドル円が高値を更新する中、円安をけん制する発言が相次いでおり市場の警戒感も高まりつつある状況。昨日海外時間の米指標を受けるもドル円は引き続き153円台で推移しており、ドル円は介入を意識しつつも堅調に推移するものと予想。
一方、今朝発表されたシンガポール金融当局(MAS)の政策決定会合では現行の通貨政策の維持を決定し、2024年のGDP予想を1-3%とした。シンガポールドル為替市場の反応は限定的となった。

【本日の予定】

(日本) 2月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y
(アジア) 2月 インド 鉱工業生産
(アジア) 3月 NZ クレジットカード支出合計 / 食料品価格
(アジア) 3月 インド CPI
(アジア) 3月 中国 貿易収支
(アジア) 3月 韓国 失業率
(アジア) 休場 インドネシア
(アジア) 韓国 金融政策会合
(欧州) 2月 英 GDP / 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 2月 英 建設業生産高 / サービス業指数 / 貿易収支
(欧州) 3月 仏 CPI(確)
(欧州) 3月 独 CPI(確)
(欧州) EU財務相理事会(ルクセンブルク)
(米国) 3月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 4月 ミシガン大学消費者マインド(速)
(米国) デイリー・サンフランシスコ連銀総裁講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。